

市民のつどい2014・第2回ふれ愛講座 一人芝居「決断 命のビザ」公演概要

新宮市では平成 26 年 11 月 13 日、新宮市民会館において、テレビ、映画、舞台を中心に活躍されている水澤心吾さんによる一人芝居「決断 命のビザ」“SEMPO” 杉原千畝物語を開催しました。第 2 次大戦中のリトアニアで、外務省の意に反して通過ビザの発給により、ナチス・ドイツの迫害を受けていたユダヤ人 6000 名の命を救ったことで知られる杉原千畝さんの物語を一人芝居で演じた水澤さんに、来場された約 400 人の聴衆の皆さんは、熱心に見入っていました。

また、アンケートも実施し、約 60%の方からご協力をいただきました。その中では、「素晴らしかった」「感動しました」「涙が出て止まりませんでした」などの感想が寄せられています。詳しくは、一覧表のアンケート欄をクリックしていただきますと、アンケート集計結果の PDF ファイルがご覧いただけます。



水澤さんは、杉原千畝の偉業をリトアニア赴任以前や日本への帰国後の様子などを交えて熱演。悩み抜いた末に、命をかけてビザを発給したものの、決心が遅かったことを悔やむ杉原の姿などを迫真の演技で表現。28 年後、ボロボロになったビザを手次々と会いにくるユダヤ人たちからの感謝の言葉に杉原は「あの時、決心して良かった」と感極まった。机とイスとカバンだけが置かれた舞台上で最後まで演じきった水澤さんの迫真の演技に、聴衆の皆さんは固唾（かたず）をのんで見入っていました。



芝居終了後には水澤さんのトークがあり、「杉原千畝が助けた命がやがて子を産み、孫を作り、今では 25 万人になっているそうです。どんな人種も差別せず無条件に愛した、博愛の精神を持った日本人がいたことはすごいことと思う」などと語りました。

一人芝居を披露した水澤心吾さん （新宮市民会館） 平成 26 年 11 月 13 日（木）